Grafana Foundation SDK を使った

Grafana Dashboard as Code

Vald: Cloud Native Distributed Vector Database
Matts 966



資料URL



自己紹介

松井誠泰

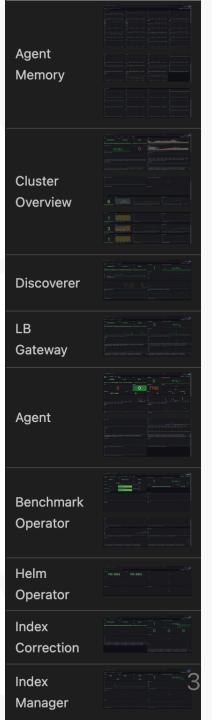
- OSSのベクトルデータベースValdチームに転職して2ヶ月目
- 趣味



• github.com/Matts966

Grafanaボード管理の課題

- コンポーネント毎にボード・パネルをたくさん管理
 - コンポーネントかなり違うものの共通化の余地あり
 - 繰り返し、条件分岐したい
 - 。 パネル毎にアップグレード作業
- JSONでバージョン管理はしていたものの
 - 。 シンプルなパネルでもGUIからexportされたJSONは大きくなってしまい、直接読み書きするのが難しい



Grafana Dashboard as Codeの選択肢 - JSONベース

方法	概要	特徴・注意点
JSON管理(元の手 法)	GUIで作成後にJSON出力	単純・最小構成向け、再利用や 共通化は弱い
Terraform Provider for Grafana	laC統合(HCL)	JSON構造の記述が必要、 Terraformに統合できる
Git Sync	GUI変更を自動でGit同期 (Grafana 12以降)	GUI派に便利、繰り返しや再利 用には不向き

Grafana Dashboard as Codeの選択肢 - コードベース

方法	概要	特徴・注意点
Grizzly	CLIでリソースとし て管理可能	CLIが便利・Jsonnet使える
Grafonnet	Jsonnetで生成	繰り返し処理など対応
Grabana	Goで記述、宣言的	唯一JSON逆生成可能、開発は grafana- foundation-sdk に移行傾向
grafana- foundation-sdk	公式SDK(Go等)	★本日のお題★

grafana-foundation-sdk の概要

- Grafana公式が提供する言語ごとのSDK
- GrafanaのAPIスキーマをベースに自動生成されている
- Go, TypeScript, Python, Java に対応



選定理由・メリット

- 繰り返しを簡単に表現できる
 - 。同じようなダッシュボードをコンポーネントごとにつくっている場合などに、関 数等で整理しやすい
- メトリクスを管理しているコードと同じ言語で書くことで、メトリクス名を参照でき、二重管理を避けられる
 - メトリクスの宣言→ダッシュボード作成まで自動化可能

メリット

- メソッドチェーンで書けるので、補完に沿って書ける
- テキストなのでLLMの力を借りやすい

```
builder.
| WithPanel() |
| stat.NewPanelBuilder().
| Title(title).
| WithTarget(prometheusQuery() |
| addBasicLabel(promql.Vector(config.BenchmarkOperatorInfo)).String(),
| ).Format("table")).
| ReduceOptions(common.NewReduceDataOptionsBuilder().Calcs([]string{"lastNotNull"}).Fields (field)).
| Span(width).Height(heightShort),
```

メリット

- 簡単にバージョンアップグレード
 - 。 公式がAPIスキーマから自動生成しているので
 - go get でタグを切り替えるだけで簡単に最新に追従できる
 - 網羅性が高い

go get github.com/grafana/grafana-foundation-sdk/go@v11.6.x+cog-v0.0.x

メリット

• 公式から promql もビルダーが提供されていて、複雑な文字列、括弧の対応の管理を 避けられる

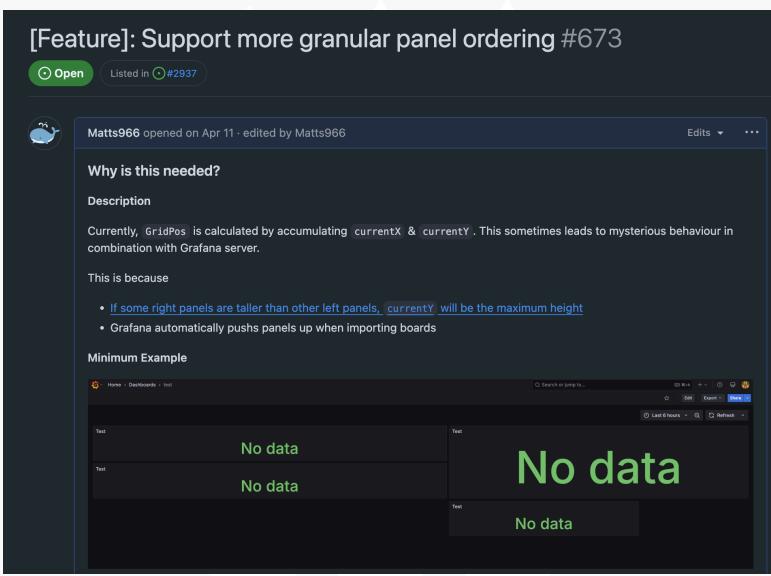
```
promql.Sum(promql.Irate(
    promql.Vector(cpuMetric).
    Range(intervalVariable),
)).By([]string{"pod"}).String()
```

デメリット

- grabanaではサポートされていたJSONからのコード生成がない
 - 。 最初導入する時だけはちょっと大変
- GUIでの操作ができない
 - やるとすると、操作の手順を覚えて関数呼び出しに書き直すイメージ
 - 。 ここが気になる場合、 Grizzly や Git Sync、自前の自動化がおすすめ

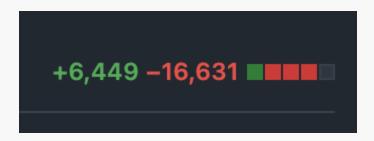
注意点

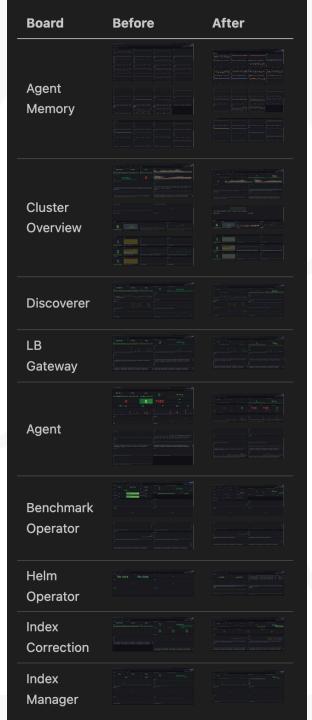
- grafana/grafanafoundation-sdk#673
 - パネル配置にバグが あるため
 - 行や列の位置がズレるなど
 - 自分で整理するコードを書く必要あり
- 現状 puzzle.go としてVald レポジトリで公開



結果

- github.com/vdaas/vald/pull /2937
- コード量を1万行近く削減
- ほぼ同じボードを再現







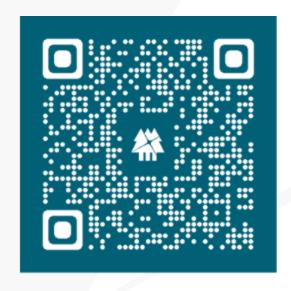
おすすめの選び方

- ・ 繰り返しが少ない → Grafana12の新機能でGUIから反映できるGit Sync
- ・ 共通基盤開発など再利用性重視 → grafana-foundation-sdk
 - 今後Go/TypeScript/Python/Javaで自動化していくなら grafana-foundation-sdk がおすすめ

参考リンク

- Three years of Grafana dashboards as code
 - grabana の作者の方で、今は Grafana Labs で grafana-foundation-sdk を開発 されている方のブログ
- grafana-foundation-sdk GitHub

Contributions are Welcome!



vald.vdaas.org